

裁判所クイズに挑戦してみよう！

～「法の日」週間企画～

1. 裁判所穴埋めクイズ

解答編

裁判所の役割

裁判所とは



ヒントは裁判所パンフレット
「裁判所NAVI」を見てね

- ・ 個人間などの法律的な紛争を解決したり、罪を犯した疑いで(A **起訴**)された人(＝被告人)について、適切な手続に従って(B **有罪**)か無罪か、(B **有罪**)のときにどのような刑罰を科すべきか決定したりすることで、国民の権利を守り、国民生活の平穏と安全を保っている。



- ・ 裁判所は、公平な裁判を通して、不法な侵害から私たちの(C **権利**)と(D **自由**)を守り、社会の正義を実現している。

裁判の種類

民事裁判

- ・ 貸したお金を返してくれないなど私たちの日常生活に起こる法律上の争いを判断して解決する。
- ・ 民事裁判は訴えの提起によって開始する。訴えた方を(E **原告**)、訴えられた方を(F **被告**)という。
- ・ 裁判官が、法廷で双方の言い分を確かめ、(G **証拠**)を調べた上で、法律に照らし、(H **判決**)を言い渡すほか、双方が合意して(I **和解**)することもある。

例えば、貸したお金を返すよう求めたり、土地や建物といった不動産の明渡しを請求したり、事故などでけがをしたことに対する損害の賠償を求めたりするのが民事裁判だよ



刑事裁判

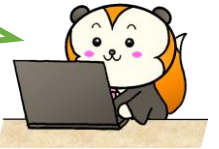
- ・ (J **検察官**)や、起訴された人(＝被告人)とこれを弁護する(K **弁護人**)の言い分をよく確かめ、それぞれの側から出された(G **証拠**)を調べ、被告人が本当に犯人であるかどうかを判断する。
- ・ 犯人ではないと判断した場合、あるいは、犯人であるとの確信が持てない場合、被告人に(L **無罪**)の判決を言い渡す。
- ・ 犯人に間違いないということになれば、被告人に(B **有罪**)の判決をし、刑を言い渡す。



警察官や検察官が犯罪について捜査をし、犯人だと思われる人について処罰を求める必要があると検察官が判断したときに、その人を裁判所に起訴することになるよ。
刑事裁判は、検察官が起訴をすることによって始まるんだ。

裁判員制度

皆さんが裁判に参加することで裁判をより身近に感じて頂き、わかりやすい裁判の実現を通して司法への信頼が高まっていくことが期待されているよ。



- ・ 地方裁判所で行われる刑事裁判のうち、一定の重大な事件について、国民の皆さんから選ばれた(M 6)人の裁判員の方に、被告人が(B 有罪)か(L 無罪)か、(B 有罪)の場合、どのような刑にするのかを(N 3)人の裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

2. 裁判員制度○×クイズ

● 第1問 ×

18歳以上で選挙権のある方から裁判員を選びます。
みなさんが、日常生活におけるいろいろな情報に基づいて、ある事実があったかなかったかを判断していることと基本的に同じであり、特に法律知識は必要ありません。
なお、有罪か無罪かの判断の前提として法律知識が必要な場合は、裁判官から分かりやすく説明されます。

● 第2問 ×

公開の法廷で見聞きしたことや裁判員として裁判に参加した経験や感想であれば、基本的に話しても大丈夫です。
みなさんの貴重な経験を周りの方にぜひお伝えください。

守秘義務が課せられるのは、①評議の秘密(どのような過程を経て結論に達したのか、裁判員や裁判官がどのような意見を述べていたかなど)と②評議以外の裁判員としての職務を行うに際して知った秘密(被害者など事件関係者のプライバシーに関する事項、裁判員の名前など)です。

● 第3問 ○

この場合、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合にどのような刑にするかについての裁判員の意見は裁判官と同じ重みを持つことになります。

ただし、裁判員のみで被告人に不利な判断(被告人が有罪か無罪かを決める場面では有罪の判断)をすることはできず、裁判官と裁判員の双方の意見を含んでいることが必要です。

3. 裁判所のパンフレット

● 裁判所パンフレット

- ・ 裁判所ナビ
- ・ 法廷ガイド

<https://www.courts.go.jp/saiban/tetuzuki/pamphlet/index.html>



● 裁判員制度ナビゲーション

<https://www.saibanin.courts.go.jp/videoamph/pamph/navi.html>

